

まほら

2024. 06 No. 03

文化祭お疲れさまでした

6月に錦江祭がありました。図書部でも出し物をして、本探しをメインにビンゴやクイズをし、たくさんの方がまほら館に遊びに来てくれて大盛況でした。

残念ながら雨の中の実施になりましたが、とても盛り上がりました。今回のことがきっかけになり本に触れる機会がもっと増えていけばいいと思います。



おしらせ

夏休みの貸出について

貸出期間 7月8日(月) ~
8月30日(金)
貸出冊数 1人 10冊まで
返却日 9月4日(水)

来週7月5日(金)から新書月間が始まります。まほら館に行き新書を借りて読みましょう。

新書とは、173×105mmのサイズの本のことを指します。文庫本に「角川文庫」「新潮文庫」等のレーベルがあるように、「新書」にも「岩波新書」や「講談社 Blue Backs」のようにレーベルがあります。



次回の出張まほら館
7月5日(金)
7月16日(火)



錦江湾高校推薦図書 2024



『錦江湾高校推薦図書』とは、先生方が選ぶ高校生のみなさんに読んでほしい本です。
今年度も、『錦江湾高校推薦図書』を先生方の紹介文とともにまほら館にて展示します。
先生方が紹介された様々なジャンルの本をぜひこの機会に手に取ってみませんか？

石塚校長先生

いまも生きる

著者 N.H.クラインバウム
訳 佐々木 早苗
絵 丹地 陽子
監修・解説 金原 瑞人
出版社 ポプラ社



ストーリー	★	★	★	★	★
読みやすさ	★	★	★	★	★
学び	★	★	★	★	★
感動	★	★	★	★	★

おすすめ POINT

生きることの意味について人種、性別、国籍、時代を問わず、老若男女の誰もが考える。読後、君たちはどう考える？

感想を待っている！映画でも上映されている！



大野教頭先生

22世紀を見る君たちへ

著者 平田 オリサ
出版社 講談社
ジャンル 教育



おすすめ POINT

ストーリー	★	★	☆	☆	☆
読みやすさ	★	★	★	★	☆
学び	★	★	★	★	★
感動	★	★	★	☆	☆

教育改革の真っ只中にいる君たちへ。
変化の激しい予測困難な時代を生きる皆さんが、これから生きるために必要な資質能力って何だろう？





水迫教頭先生

One World

著者 喜多川 泰
出版社 サンマーク出版
ジャンル 自己啓発



ストーリー	★	★	★	★	☆
読みやすさ	★	★	★	★	☆
学び	★	★	★	★	★
感動	★	★	★	★	★

おすすめ POINT



「好きだから大切にするのはなく、大切にすることから、好きになる。」この言葉の意味がわかったとき、これからの行動が変わると思います。短編集のように見えますが、実はそれぞれがつながっている不思議な長編の物語です。まるで人生で感じる縁のような…。

筆者の「One World」に込めた思いを感じてみてください。

地歴公民科 白田先生

京大地理学者、

なにを調べに辺境へ？

著者 水野 一晴著
出版社 ベレ出版
ジャンル 地理



ストーリー	★	★	★	★	☆
読みやすさ	★	★	★	★	★
学び	★	★	★	★	☆
感動	★	★	★	★	☆

おすすめ POINT

人との出会い、本との出会い、旅での出会い。そんなに世界旅行には行けません。そこで本を通しての世界旅行をおすすめします。世界の果てが自分とつながり、そこで暮らしているような感覚です。



気になる本は借りて読んでみましょう！
図書館にないときには、予約をすることもできます





英語 坂元先生

ちいかわ

お友だちとのつき合いかた

イラスト ナガノ
監修 加藤 裕美子
スパイラルキュート
出版社 KADOKAWA
ジャンル 教育

ストーリー	★	★	☆	☆	☆
読みやすさ	★	★	★	★	☆
学び	★	★	★	☆	☆
感動	★	☆	☆	☆	☆

おすすめ POINT

言葉の伝え方や気持ちの整理の仕方など、役に立つ考え方のヒントが盛りだくさんです。

「お友だちってなんだろう?」「お友だちとの間のルール」、「自分のことをもっと知ろう」のタイトルで、ちいかわのイラストと共にわかりやすく書かれています。ちいかわとハチワレのようにお互いを思いやり、一緒にいると幸せと思える友だちっていいですね。

私はラッコタイアでした♪



国語科 濱田先生

砂漠

著者 伊坂幸太郎著
出版社 新潮社
ジャンル 小説



ストーリー	☆	☆	☆	☆	☆
読みやすさ	☆	☆	☆	☆	☆
学び	☆	☆	☆	☆	☆
感動	☆	☆	☆	☆	☆

おすすめ POINT

大学生活最初の飲み会、見ず知らずの同級生の前で演説をぶつ西嶋。「その気になればね、砂漠に雪を降らすことだって、余裕でできるんですよ!」格好悪いけど、堂々としている。西嶋には涯^はてがない。初めてこの小説を読んだ高校生の頃、西嶋になりたいと思っていた。残念ながら西嶋になれなかった今の願いは、一人でも多くこの世界に西嶋が増えてほしい、君に西嶋になってほしいということ。西嶋に会うために、そして西嶋になるために、この小説を読んで下さい。